## SC-48 エキスパートのアドバイス

"An expert's advice " by Lary Faris 抄訳:薩川俊三

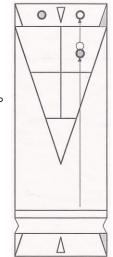
ウエブ・スミス は、多くの人に古今を通じて最高のシャフルボード・プレーヤーと考えられている。ウエブ は 50 年代~60 年代にプレーし、フロリダと全米のトーナメントで 100 回以上優勝した。私は彼のプレーを見たり、彼とプレーをした人々と話す機会があった。私は 1968 年の全米大会の試合で彼に負けた。

ウエブはゲームを隅々まで良く知っていて、戦略、戦法について話すのが好きだった。彼の話の1つを紹介する。非常に単純で普通の状況のものだ。

シュートしようとしているブラックのディスクが 10 オフに入っていて、相手のイエローが 7 に得点している。2 つのディスクの間隔は 30cm 以上だ。ウエブは、ここで両方のディスクを取り除き、そして相手のディスクを 10 オフに入れようとするプレヤ

全に無視しなければならない、とウエブは言った。

で、これは殆ど確実だ。



ーが非常に多く、これは悪いショットだと言った。ビキナーからエキスパートまでの全てのプレーヤーが、このプレーをしているのを見ていると付け加えた。シューターの正しいショットは、7の正面に当てて置き換え、そして相手のディスクを 10 オフに入れようとするもので、シューターは自分の 10 オフを完

相手の7イエローを自分の 10 オフと置き換えるコンビネーション・ショットが完ぺきに行なわれると 27 点差を得る。ウエブの方法のショットが完ぺきにおこなわれると 24 点差を得る。二つの結果に大きな差はない。しかしどちらの場合も、最もありそうな結果は、上記で望んだ完ぺきの結果ではない。コンビネーション・ショットを試みた時に最もありそうな結果は、7を取り除いたシュート・ディスクはコートの外に滑り出て、自分の 10 オフは残り、7点差を得るだけだ。ウエブの方法で最もありそうな結果は、相手の7イエローを取り除いて自分の7と置き換わり、自分の 10 オフはそのまま残り、14 点差を得ること

ウエブ の考え方のスタイルは、完ぺきなショットによる結果よりも、最もありそうな結果を狙うことだ。彼の選択は、7点差を得るか又は 14 点差を得るかに過ぎなかった。彼の熟練した技術を使っても成功しそうもない結果は狙わなかった。

勿論、10 オフをリバースするのは、7 を置き換えるよりも楽しいので、あなたはこの状況に直面すると、きっとリバースをしようとするでしょう。私もそうだ。しかしウエブ・スミスの考え方に、私は意義を唱えない。